



第48回防衛問題セミナー



北海道防衛局は、令和6年11月20日（水）名寄市民文化センター EN-RAY ホール（名寄市）において、我が国を取り巻く安全保障に関すること及び自然災害に関することの2本立ての構成により、防衛問題セミナーを開催いたしました。

講演に先立ち、福島北海道防衛局長から開催挨拶を行い、続いて加藤名寄市長から後援者を代表してご挨拶を賜りました。



主催者挨拶
福島北海道防衛局長



後援者挨拶
加藤名寄市長

第1部 『防衛三文書の概要』 防衛省大臣官房参事官 有田 純



第1部では、有田講師から『防衛三文書の概要』と題し、我が国が戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境に直面していることを受け制定された、いわゆる防衛三文書について、ロシアによるウクライナ侵略等の事例を踏まえ御講演頂きました。

第2部 『気候変動に伴う風水害の激甚化とリスクベースの適応策の考え方』 —水分野における最先端研究と防災行動の促進に向けた取り組み— 北海道大学教授 山田 朋人

第2部では、山田講師から『気候変動に伴う風水害の激甚化とリスクベースの適応策の考え方』と題し、北海道に接近する台風の増加や、近年の記録的豪雨が多発している状況を説明し、過去の統計結果のみではなく、将来の予測を踏まえた防災の必要性などについて御講演頂きました。



今回のセミナーでは、道内の地方公共団体の首長や道議会議員など約20名を含む約360名が来場され、大変盛況のうちに終了しました。

《参加者ご意見の例》

「台風、雨による災害のリスクが北海道でもあるのだと認識した」
「直接防衛省の方や大学教授の専門的なお話を聞くことができて良かった」

当局では、防衛政策や防衛省・自衛隊の活動等について、皆様にご理解・ご協力いただけますよう、今後も防衛問題セミナーを開催してまいります。

